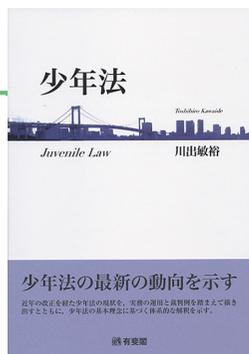


少年法

川出敏裕

2015年9月発売／406頁／本体3400円＋税
A5判／上製



編集
担当者
から

2008年から2年にわたり本誌に連載された「入門講義 少年法」が、少年法の改正などを踏まえて大幅に加筆・修正され、一冊の本になりました。

マスコミ等で少年犯罪がセンセーショナルに取り上げられるたびに、「少年法が子供を甘やかしている」といった声が広がりがちです。しかし本書を読めば、「少年の健全育成」という一貫した基本理念の下で少年法を理解し、運用していくことの重要性が分かります。

少年法の基本理念と手続の流れがまとめられている第1章をまずは押さえ、その上で、第2章から9章までの各手続に進みましょう。第1章の直前に「手続の流れ」の図がありますので、時折振り返って「現在位置」を確認して下さい。第10章は少年事件の報道という関心を引くテーマです。最終章では、少年法のこれまでの改正の経緯がまとめられていますので、時系列で少年法をつかむことができます。

学生の読者のみなさんは、本書のほか、犯罪白書等も参照し、また刑事政策にまで関心を広げていくと、本書の理解がより深まるのではないのでしょうか。(S)

Point!



カバーに用いた写真は、非行少年の社会復帰(への架け橋)をイメージしています。

【主な目次】

第1章 少年法の概要と基本理念

第2章 非行少年の発見過程

成人事件との差異／捜査機関による捜査と送致／
触法少年・虞犯少年の取扱い／少年事件の捜査と
調査の法的性格／少年警察活動 など

第3章 事件の受理と調査

事件の受理／観護措置／調査 など

第4章 審判

審判の開始と不開始／審判に付すべき少年／
審判の対象／手続の関与者／審判の進行／
証拠調べ・証拠法則／要保護性に関する事実
の審理／非行事実と要保護性の認定／試験観察

第5章 終局決定

不処分決定／児童福祉機関送致決定／
検察官送致決定／保護処分決定 など

第6章 上訴

上訴制度の概要／抗告／
不利益変更禁止の原則

第7章 保護処分の取消し

制度の趣旨／保護処分終了後の取消し／
取消しの範囲・効果／審判不開始・
不処分決定の取消し など

第8章 少年保護事件の補償

第9章 少年の刑事裁判

公判手続／少年に対する処分／
少年の刑事裁判における量刑

第10章 少年事件の報道

推知報道の禁止／推知報道による損害賠償

第11章 少年法改正の歴史

現行法制定後の改正論議／
平成12年・19年・20年・26年改正 など